

KSKP
NO. 13



パンジー

発行 1995年8月

だより
長田民子

芽生えた自信がよい方向へ

今年も暑く長い夏がやってきます。ここクリエイティブハウス「パンジー」も3度目の夏をむかえることとなります。

例年のようにあわただしく過ぎていきそうなこの季節をどうのりこえようかとメンバー、職員みんなで奮闘する日々です。

さて、この季節、今年4月から新しくやって来たメンバーたちも、そろそろパンジーの建物や人にもなじんできたようで、いろんな場所で顔をだし、自分の存在をアピールしました。たとえば、メンバーたちの自治会「どらえもん会」の役員に自分から立候補したり、また、日々の作業をほとんどおぼえてしまったり……と、すっかりたのもしくなってきました。

また、前からのパンジーのメンバーも、「どらえもん会」をすっかり自分たちのものとし、役員会や、全体の話し合いの場でも、自分たちが率先してやっという認識ができてきているようです。全障連知的障害者部会の基調案の作成、自分たちが今やりたい仕事（たとえば、パン部門の営業活動など）を、自分から発言し、さっそく「どらえもん会」でみんなの承諾をえて、決定してしまったりと、芽生えた自信が良い方向へ進んできているみたいです。

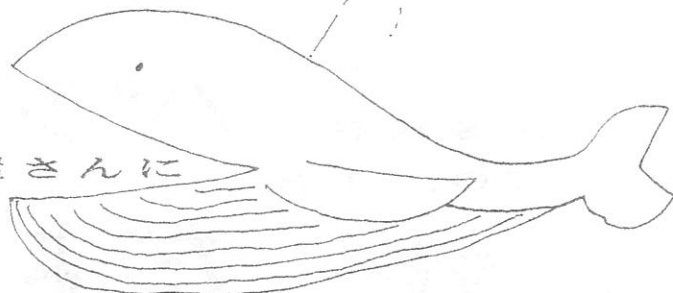
☆☆

☆☆

8月5日の土曜日、「パンジーなつまつり」をおこないます。去年の経験と反省を生かし、より楽しい催しにしたいと考えています。ぜひおこしてください。

(よしたけ)

変化のあるパン屋さん



パンジーも3年目を迎え、パン部門にも安定感がでてきました。しかし、それと同時にメンバー職員ともにマンネリ化し、職員の気のゆるみなども見られるようになりました。マンネリ化には変化が、気のゆるみには気持ちの引き締めが必要です。

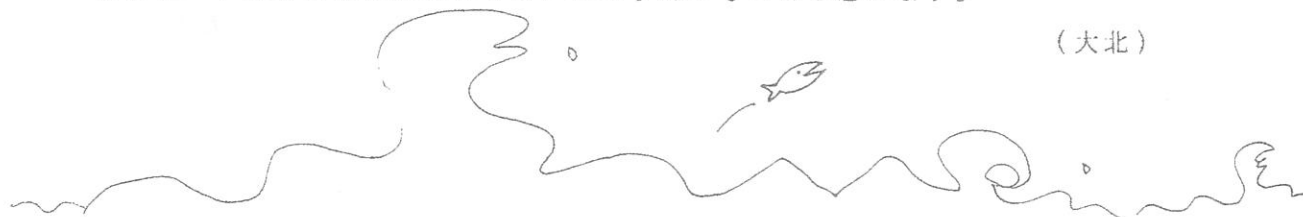
パン部門での変化は、まずメンバーの営業活動です。それは、メンバーの自治会である“どらえもん会”で、「いまの給与月額6000円では安すぎて不満である。また自分を表現できる仕事もしたい」との声があがり、それらを実現させるためにどうすればいいのかと考え、営業活動をしようということになりました。「売り上げアップで給料を引き上げよう。自分には営業のほうが向いているかもしれない。何か変わったことがしたい」。それらはマンネリの打破を意味します。組織は変化することで自身を調整して新しくなります。変化を止めるとき、組織は不健全化するのだと思います。

そのことから、メンバーは「健全な変化」を求めているのではないのでしょうか。しかし、それに対してパン部門の職員が「不健全な安定」の中にいることに最近気づきました。

このことは「健全な変化」とはまったく逆の作用です。パン部門の職員の気のゆるみ、それは感性や感覚の鈍化のことです。この、感性や感覚の鈍化は、身近に起きることに対して自分を無感覚にします。そのことで「不健全な安定」を作り出すことになってしまいました。この「不健全な安定」とは、物事をあいまいにし何となく過ごしてしまうことをさします。

いまパン部門に必要なことはメンバー、職員ともに「変化」です。メンバーには「健全な変化」、職員には「不健全な安定」を壊すための変化です。新しくないもの、変化のないものは、つまらないものです。変化のある、つねに新しい魅力あるパン屋さんになれるようにがんばりたいものだと思います。

(大北)



とうしな「いかり」はじまったよ

前回のバンジーだよりで「求ム！陶芸の先生」を掲載したところ、とってもステキな先生が見つかりました。毎週火曜日の午後には、ワイワイガヤガヤにぎやかに、作品づくりをしています。

陶芸を始めて約一カ月。先生とメンバーの感想を聞いてみたいと思います。

「バンジー」と陶芸

毎週火曜日、「バンジー」から帰ったら、とても元気な私です。きっと皆の元気なエネルギーをもらって帰るおかげだと思います。

焼物は、たくさんの行程をへて出来上がること、皆に知ってほしいな。

今は、粘土を放り込んだら、焼き上がって出てくる機械もあります。

でも、クリエイティブではないわね。

一瞬一瞬の、偶然性に秘められた美こそが、クリエイティブってことではないかしら。

そういう意味で、バンジーは、宝の豊庫です。

技術にまさる何かも、必ずあるという事を信じたいと思います。

その上で、多くの人々に受け入れてもらえる作品も、作って行くことができばいいなと、考えています。

高橋じゅんこ

はじめは、むずかしかった。じょじょになれてきた。またやりたい。岡木 智

はじめて ねんど作りました。みんながおって うれしかったです。

五十嵐 千佳

たのしくて、しかたがない。つぎがたのしみ。できれば まいにちでも やりたい。 青山 正

只今、クリエイティブ部門では、さをりやハーブ製品、陶芸作品等をおいてくださるショップを探しています。

「私のお店にぜひ」と思ってくださる方はもちろん、「一度セールスに来い」とおっしゃるお店や、「あのお店においたらいいんじゃない」と思うお店があれば、バンジーにご連絡ください。

『体験宿泊の1ページから』

西尾 健一

布施に映画を見に行った。映画館にエレベーターがあればなあと思った。布施で夕食を食べた。駅なのにエレベーターがあるのが1駅だけやった。障害者が街に出やすいようにすればいいのになあ。もっと話し合いやればいいのになあと思った。全部の駅にエレベーターがついたら1人で行けるのになあと思った。

僕もお金を払って客どうして乗っているのに、服汚れるからってお手伝いしてくれない。それは、おかしいと思った。でも映画館の時、服が汚れるのを気にしないで車いすの気持ちとなって同じ人間だなあと思って、お手伝いしてくれた女の人もいた。でも彼氏がいてるんだなあ。

帰りに布施駅のホームで僕は3階と言ったのに、伊藤さんは2階やと言った。そして別の方(八尾行き)に行ってしまった。八尾駅からバスに乗って帰って来た。八尾駅でまさか喫茶店に入れるとは思わなかった。まさか八尾駅に喫茶店があるとは思わなかった。

グループホームにし 肌勢俊一

わたしは友だちをもっている。せやけどぼくは 作ぎょうをやっているときが いちばんたのしい。武やんは ぼくがやるときにきゅうにいかってしまったから、なにがあったかなとおもった。

グループホームのとき 生田さんとか よしむらさんとかくるから、一男くんとかがくるから にぎやかでわからないはなしあって 生田さんは「わーはー はー」いう。

ぼくは旅行が好きです。なんにんかで行くとにぎやかでおもしろく行くとおもう。きょうとでもいったらどんだけ……。

実はどら会の下請けなのよ☆

自立生活センター「わくわく」

メンバーの自治会（どらえもん会）のサポートは「わくわく」が主にやっています。全障連大会の知的障害者部会の基調報告案づくりは、5月後半のどらえもん会役員会で行われました。「わくわく」ではみんなが出し合った想いを、まとめる手伝いをしました。

想いをうまく表現できず困っているメンバーは他のメンバーに励まされながら、ほしいものや、したいことなどを一生懸命話し合いました。みんな生き活きして、とても楽しそうでした。

その時私は、出された意見をひたすらメモしていましたが、みんなの元気っぷりにびっくりしてしまいました。

そして今は「わくわく」が当事者主体の、本当の意味での「自立生活センター」になる日も遠くないが、と感じています。

(ゆっこ)



お昼ごはん

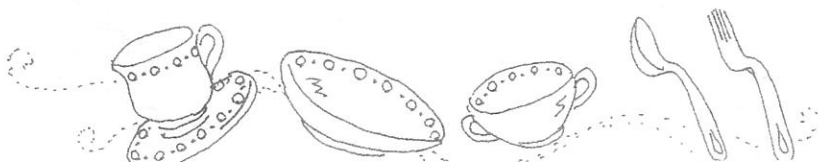
現在日に約50人のお昼ご飯を作っています。一人分5～6品を作ります。メニュー表づくりは、月の下旬に写真見本をメンバーに回し、希望のところに印をしてもらいます。それをベースにメニュー表を作ります。

皆のリクエストの中には私の知らないメニューや初めて耳にする食材もあり困惑しますが、そんな時、あわてずさわがず我流でオリジナルメニュー？ を仕上げるワザも身につきました。心の広いメンバーや職員はだまって食べてくれます……が、ときにはゴマかしのテクニックも通用せず、既製品を使うとしっかり残されます。

自立して三度の食事を外食やホカ弁ですますメンバーがだんだん増えており、その中の一人で「わし、油ものあかんねん」と日頃揚げ物を拒絶しているIさんが、手作りコロッケをきれいに食べてくれました。

空のお皿を手に「おいしかったわー」と喜んでくれたとき、またがんばろうと元気が出てきます。

(河野)



どらえもん会

この夏^{なつ}ひらかれる、第20回^{だい}全障連大会^{ぜんしょうれんたいかい}の知的障害者分科会^{ちてましょうがいしゃぶんかかい}の基調報告^{きちょうほうこく}の文^{ぶん}章^{しょう}をバンジーで^{ぶんしょう}つくりました。

どらえもん会では役員^{やくいん}が中^{ちゆうしん}心^{しん}になって、今までしんどかったことや、がまんしてきたこと、考^{かんが}えてきたことや、し^いたいことなどを話^{はな}し合^あいました。そのあ^おと、み^みん^んな^なが^が出^だした意^い見^{けん}を文^{ぶん}章^{しょう}に^にしま^ました。そのうち^{うち}にみ^みん^んな^なが^が同^{おな}じ^じ気^き持^{もち}ち^ちを心^{こゝろ}のな^{なか}に持^もっ^ていた^たのがわ^わか^かっ^てき^きま^ました。み^みん^んな^なが^が気^き持^{もち}ち^ちをわ^わか^かり^りあ^あえ^えた^たみ^みた^たいで、う^うれ^れし^しそ^そう^うに^にワイ^{ワイ}ワイ^{ワイ}に^にぎ^ぎや^やか^かに^に話^{はな}し^し合^あっ^てい^いま^ました。

基調報告^{きちょうほうこく}の文^{ぶん}章^{しょう}をつ^つく^くる^るこ^ことは^はメン^{メン}バー^{バー}にと^とつ^つて^て本^{ほん}当^{とう}によ^よい^いこ^こと^とで^でした。話^{はな}し^し合^あっ^てい^いく^くう^うち^ちに^に自^じ分^{ぶん}た^たち^ちに^に何^{なに}が^が必^{ひつ}要^{よう}か^かが^がわ^わか^かっ^てき^きま^また^たか^から^らで^です。

なか^{なか}でも^{でも}「自^じ立^{りつ}す^すこ^こと^と」が^が一^{いち}番^{ばん}大^{だい}切^{せつ}な^なこ^こと^とだ^だと^とい^いう^うこ^こと^とが^が、だ^だん^{だん}わ^わか^かっ^てき^きま^ました。

そ^そして^{して}自^じ立^{りつ}す^すた^ため^めに^には^はヘル^{ヘル}パー^{パー}が^が必^{ひつ}要^{よう}だ^だと^とい^いう^うイ^イク^クさ^さん^んの^の意^い見^{けん}が^がき^きっ^かけ^けで^で、こ^これ^れか^から^らみ^みん^んな^なで^でヘル^{ヘル}パー^{パー}集^{じつ}め^めを^をが^がん^んば^ばる^るこ^こと^とに^に決^{けつ}ま^まった^たの^ので^です。

こ^この^{この}と^{ところ}こ^ころ^ろ、い^いろ^ろい^いろ^ろな^なで^でき^きご^{ごと}と^とが^があ^あっ^て、そ^その^{その}た^たび^びに^に「ど^どら^らえ^えも^もん^ん会^{かい}」は^はど^どん^{どん}ど^どん^{どん}た^たく^くま^ましく^くな^なっ^てい^いく^くよ^{よう}う^うで^です^すが^が、ま^まる^るで^でそ^そう^うな^なる^るた^ため^めに^にだ^だれ^れか^かチ^チャ^ャンス^{ンス}を^をく^くれ^れて^てい^いる^るよ^{よう}う^うな^な気^きが^がす^する^るこ^こと^とが^があ^あり^りま^ます。役^{やく}員^{いん}の^のひ^ひと^とり^り、ナ^ナオ^オミ^ミさ^さん^んが^が「神^{かみ}様^{さま}が^がみ^みて^てく^くれ^れは^はる^るか^から^ら、き^きっ^かん^{かん}ど^どう^うま^まく^くい^いく^くわ^わ」と^とい^いった^たこ^こと^とが^があ^あり^りま^ました^たが^が、ほ^ほん^んと^とに^にそ^そん^んな^な感^{かん}じ^じが^がし^しま^ます。

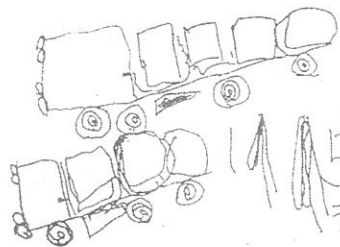
でも^{でも}チ^チャ^ャンス^{ンス}が^があ^あっ^ても^も、み^みす^すご^ごす^すこ^こと^とも^もあ^ある^るも^もの^の。し^しっ^っか^かり^りと^とつ^つか^かん^んで^でい^いる^る「ど^どら^らえ^えも^もん^ん会^{かい}」の^のメン^{メン}バー^{バー}は^はや^やっ^っぱ^ぱり^りす^すご^ごい^いん^んじ^じゃ^ゃな^ない^いか^かな^な。



(ゆきこ)



青山正



14 15 16
ラ歌一冊

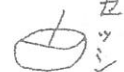
五子
あし
ちん



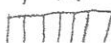
ゴシ



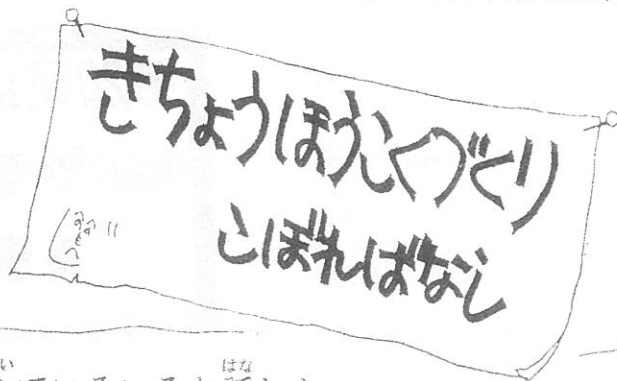
Y
Z



リンゴイースト



メロパン



どれもん会^{かい}でいろいろと話^{はな}した。
 僕^{ぼく}はおどろいたで、基調報告^{きちょうほうこく}をするこ^こになった。僕^{ぼく}はえらい
 こ^こちやと思^{おも}った。
 僕^{ぼく}は困^{こま}ったこ^こまった どれもん会^{かい}で僕^{ぼく}はA君^{くん}と電話^{でんわ}で話^{はな}
 した。A君^{くん}が電話^{でんわ}でポンポンとしゃべ^べってきた。僕^{ぼく}はおどろい
 た。電話^{でんわ}でかえたらあかんていうた そしたら、A君^{くん}がいまの
 ままでいい^{おも}っていうた。よ^{おも}かったでと思^{おも}った。
 みんなで電話^{でんわ}に^こでてあかんていうた。 よ^{おも}かったで。
 (もりした じゅんいち 森ト 純)

※ 国際障害者年 大阪連絡会議 知的障害者の部会「なかま会」
 で基調報告^{きちょうほうこく}の文^{ぶん}章^{しょう}を^を発^{はつ}表^{ひょう}しました。そしたらAさんという人^{ひと}に
 「文^{ぶん}章^{しょう}を^をち^ちよ^よと^と変^かえて^えて^てほ^ほしい」と言^いわれたん^んです。「どれもん会^{かい}」
 ではりんじ役員会^{やくいんかい}を^をひ^ひら^らき、どうする^{する}か^かを^をかん^{かん}が^がえ^えま^まし^した^たが、みんなは
 文^{ぶん}章^{しょう}を^を変^かえ^えたく^くあ^あり^りま^ませ^せん^んで^でした。
 だから、「文^{ぶん}章^{しょう}を^を変^かえ^えない^{ない}で^でお^おこ^こう」とい^いう^うこ^こと^とを^をA^Aさん^{さん}に^に電^{でん}話^わで
 い^いう^うこ^こに^にな^なり^りま^まし^した。役員会^{やくいんかい}議^ぎ長^{ちやうじん}の^の森^{もり}下^{した}くん^{くん}が^が中^{ちゆうしん}心^{しん}に^にな^なっ^つ
 て^て電^{でん}話^わを^をか^かけ^けま^まし^した。ふ^ふだ^だん^{だん}は^は照^{あか}れ^れ屋^やさん^{さん}で^です^すが、岡^{おか}本^{もと}くん^{くん}、福^ふ田^たさん^{さん}、
 青^{あお}山^{やま}さん^{さん}、荒^{あらい}井^いくん^{くん}、内^{うち}海^みくん^{くん}、生^{いく}田^たさん^{さん}たち^ちに^には^はげ^げま^まさ^され^れな^なが^がら
 し^しっ^っか^かり^りと^と話^{はな}し^しま^まし^した。話^{はなし}を^をする^{する}の^のが^がち^ちよ^よと^と苦^{にく}手^てな^なメ^めン^んバ^ばー^ーたち^ち。
 でも^{でも}は^はげ^げま^まし^しあ^あつ^つたら、思^{おも}った^たこ^こと^とを^を話^{はな}す^すこ^こと^とが^ができ^{でき}ま^まし^した。A^Aさん^{さん}も
 わ^わか^かつ^つて^てく^くれ^れた^たよ^よう^うで^です。
 その^{その}と^ときの^きこ^こと^とを^を森^{もり}下^{した}くん^{くん}が^がか^かい^いて^てく^くれ^れた^たの^のが^が上^{うえ}の^の文^{ぶん}で^です。

第20回全障連大会...

知的障害者分科会

基調報告

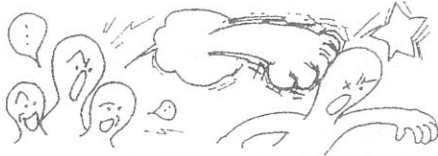
1

「知的障害者」分科会基調

みなさん、「あいつアホや」っていわれたらどう思いますか。

私たちは「知的障害者」とよばれています。いままで「アホ」とか「キチガイや」といわれて、とてもイヤでした。腹が立って、けつたらかと思っただけではありません。

けれど、うまく言い返すことができなかったし、しかたのないことなんだと思ってきました。



私たちはずっと「知的障害者だから」、「どうせ何もできない」と言われて、したいこともさせてもらえなかったんです。でも、パンをやいたり、仕事をがんばっているうちに、だんだんやる気がでてきました。

そして、したいことも、ほしいものもどんどんふえてきました。



2



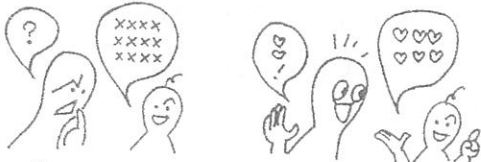
では私たちのしたいこと、ほしいものをいってみます。いろいろなところにもっと行くこと。

外国にもどんどん行きたいです。

自立すること。

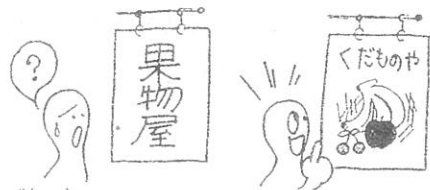
お父さんやお母さんに苦勞をかけたくない。みんな年をとって行くから、この先のことも考えていきたいのです。

でも、外へでたり、自立するためには、介護者もお金も、まだまだ足りません。このままではしんどいです。だからもっとお金をかせぎたいです。



私には、わからない言葉がありますが、わかる言葉もたくさんあります。読めない漢字もふりがながあればわかります。字がわからなくても、絵がかいてあれば意味がわかります。

3



本を読みたい。ワープロやパソコンをつかいたい。

映画もたくさんみたい。いろんなことを知りたい。

でも私たちにわかりやすく、役に立つものは少ないです。その反対にわからないもの、役に立たないものがたくさんあります。



「アホ」「何もできない」といわれてきた私たちだけ、私たちにわかるもの、役に立つものがどんどんふえれば、私たちにできることもどんどんふえていくんです、ぜひに。

これからも、できることをふやしていくために、みんなで手をつないでがんばってこう。

いま、私たちはやる気いっぱいです。

パンジーにかかわる人々
誰が誰だかわからなかった頃



西村

パンジーのビデオを創るために、日常の作業や「パンジーまつり」等を撮影しています。パンジーに出入りし始めたのは1月の終わり頃で、ちょっとその頃を振り返ってみようと思います。

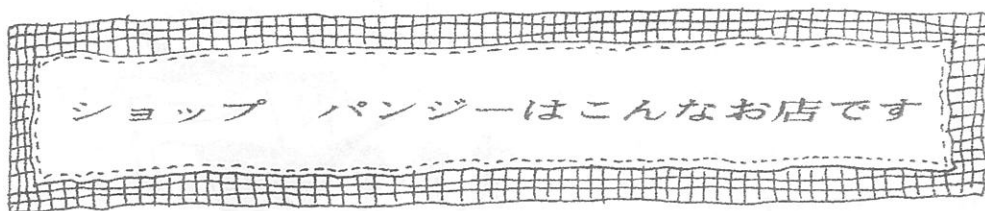
当初は、カメラを担いでいたわけではないので、“どういう人?”という思いはみんなあったと思うんですね。内海くんがロッカーで「あの人居れ?」と聞いていて、聞かれた方も「知らない」と答えていました。

そんな中でよく話をしたのは平川さんと福田さんだったような気がします。私と平川くん、福田さんの会話に誰かが入ってきたりして、みんなと話すようになりましたね。他人に話しかけるのって勇気があることだと思うんですが、この人はどうゆう人かっていうところからじゃなくて、なんか「これおいしいね」とか、「すごい雨だね」とか、そんなところからつながっていく関係に憧れますね。自分がそうじゃないからでしょうけど。

パンジーに西尾という名字の人が3人いますよね、一美さんと幸女さんと健一くんですけど。平川くんが兄弟だって教えてくれました。

でも変なんですよ。一美さんと幸女さん、とても姉妹の会話とは思えない。職場だから一線を引いているのかも考えてみましたがやはり変なんです。パンジーがそういうところとも思えない。健一くんとの会話も変。1か月くらいは信じていました。こういうのは大好きです。鶴田真由が鶴田浩二の娘でないことも最近知りました。





みんなのおもいをそれぞれに秘めて、オープンしてから2ヶ月あまり。

地域の中に根ざしていく 道の新たな第一歩を踏み出しました。

メンバーの人たちがローテーションをくんで、

毎日はりきって店番をしています。

まだ、ご存じでない方への紹介をかねて“来てねコール”を送ります。



“ショップパンジー”では、
コーヒー・紅茶・ハーブティー・無添加クッキー&パンの喫茶と、
さおり製品・ハーブ製品などの販売をしています。

東大阪市 東瀧池町2-4-25 / パンジーより歩いて5分

TEL 0729-66-8824



みなさん、お元気ですか？この頃すっかり暑くなりましたね。晴れた日なんか日ざしが強すぎて、出かけるのはなんだかなぁ……ってときがありますね。

そんななかでもパンジーのメンバーは相変わらず元気いっぱい。雨でもかんかん照りでも、出かけるのが大好きです。毎月第1・第3土曜日の外出活動は欠かしません。

どんな遠いところでも、どんどん出かけていきます。だって一緒に行動してくれるガイドヘルパーさんがいるんですから。ひとりで行くのは不安な場所でもガイドヘルパーさんが一緒なら安心。知らないところへ出かけていくのも楽しくなりました。

そしたら、なんだか自分の世界が広がったような気がしてきました。もっとももっといろんな経験を積みたくなってきました。

そしたら、なんだか最近、みんな元気になってきて、この頃は何でもできるような気がするのです。

募 集 中

9月16日(土) 個別外出活動

9月19日(火) なかま会

9月30日(土) スポーツ活動

(※9月は第3・第5土曜日が外出活動日)

上記の活動に参加できる方および(9月は×でも)10月以降活動できる方。

<性別不問。有償(→ガイドヘルパー制度に基づく額)>

面接随時。活動内容を簡単に説明します。事前にご連絡の上お越し下さい。

またお知り合いで、興味のある方がいればご紹介下さい。

クリエイティブハウス「パンジー」：TEL：0729-63-8818 担当：山本

パンジーでは、毎月第1・第3土曜日の「外出活動」などの外出時に、メンバーにつきそってサポートする「ガイドヘルパー」として参加して下さる方はいませんか？

積極的に外へでていくメンバーたちは、みんなとっても魅力的です。

メンバーたちは、ガイドヘルパーさんが大好き。会えた日には元気いっぱいになります。

来てくださってるガイドヘルパーさんたちも、最近とくに元気いっぱい、外出活動日はとってもいい雰囲気です。

コーディネート係の私もそんなのを見ると胸のあたりがほこほこしてきます。

(ゆっこ)

書き損じハガキ、切手を待っています!

ご家庭や会社などで、書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます。

<後援費を振り込んでいただいた方です> (敬称を略させていただきます)

田中 誠 埴下 千里

<書き損じハガキを送っていただいた方です>

大谷 強 飛鳥井 佳子 榎本 仁美

兵庫県南部地震への支援の為の情報

被災した作業所・障害者事業所などの再建のための支援金を集めています。阪神大震災障害者救援本部を通じて、被災地の障害者団体に送ります。(振り込み用紙の記入欄に「支援金」とご記入ください)

パンジーのメンバーが全国へ飛び出すために、カンパをお願いします。

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちの現実や、将来のこと、自立についてなどを話し合います。現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担が軽くなるといいな、と思っているのです。ぜひ、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円

郵便振替番号 00950-1-300551

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8

クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818

“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市城東区東中浜2-10-1-3

緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付